

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもと家族の育ちサポート スコレー（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63人	(回答者数)	41人
○従業者評価実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和7年5月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)	13人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年6月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応により、利用者一人一人に応じた療育を提供できる。	こどもたちが意欲的に活動に参加することで成長していくという観点から、こどもたちの「やりたい」「できた」という気持ちを大切に支援を行なっています。	職員の提供できる活動の幅が広がるように、研修等で学びの機会を作ります。
2	同法人内の医療機関と連携を図ることで、利用者のニーズに合わせた療育を提供できる。	週1回は、必ず医療機関とのカンファレンスを実施して、利用児についての情報共有を図っています。 毎月1回実施されている法人内の勉強会に参加し、研修の機会を保障しています。	法人内の研修だけでなく、外部機関の研修にも積極的に参加していきます。
3	公認心理師、作業療法士、保育士、児童指導員（全員、小学校教員免許所持）など、多職種の職員が在籍しており、それぞれの専門性を活かして支援することができる。	それぞれの専門性を活かした支援ができるように、複数の職員で支援する体制を整備しながら、職員間での情報共有を積極的に行なえるようにしています。	事業所内や法人内において、それぞれの専門性を共有する機会を設けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の意図が、十分に保護者に伝えられていない場合がある。	保護者に対して、活動の目的や今後の支援方針等を伝える機会や時間が十分に確保できていない。	・施設運営システムのチャット機能の活用、保護者面談の機会の提供を行なっていきます。
2	保護者からの相談や意見を受け付ける機会が少ない。	保護者の要望に応じて、家族支援での面談を受け付けているが、周知が徹底できていない。	家族支援としての面談が可能であることを保護者に再度伝え、相談を受け付けます。
3	外部機関とのつながりがまだ確立されていないため、外部との連携が十分に取れていない。	当事業所が、外部機関や周辺地域において、まだ十分に認知されていない現状がある。	自治体の自立支援協議会こども部会に参加し、外部機関との連携が取れる体制づくりを行なっていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもと家族の育ちサポート スコレー（放課後等デイサービス）
------	--------------------------------

公表日 令和7年6月23日

利用児童数 63人

回収数 41人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	☐				机上課題をメインに取り組むための施設としては問題ないかと思う。 迎えの時にエントランス部分で活動されている事があり、部屋数が足りないのかなと思う事がある。またその場合そこで我が子を持っていて良いか分からなく困った事があった。 狭さ(窮屈さは感じる) 我が子に合った療育をしていただいています。	入り口すぐのスペースに関しては、パーティションなども活用しながら、保護者様や次の利用児様の待機場所を確保するように努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	☐				子を担当してくださる方がどのような資格を持ち、どのような支援を得意とされているか分からない。 常に子供の尊重を優先して下さり、先生に会い、一緒に過ごしたい、と子供も喜んでいます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	☐				キッチンやトイレ、活動する部屋は分かりやすくなっていると思う。 個室も集中できる空間と思います。 もう少し広さがある場所が確保されているとより良いと思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	☐				特に待合スペースが狭い。どこで保護者や次のお子さん様が待てばいいのか、イスもないので戸惑う。 遊びも学びも丁度良い広さだと思います。	待合場所の確保に努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	☐				どのような事をしたか、返えの際にさらっと聞くだけなので判断できない。 先生方には、一生懸命に接して下さって感謝です。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	☐					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	☐				個別支援計画が作成された後にニーズが変わることもあるので定期的に振り返られる機会があると良いと思う。 たくさんの課題を投げかけ、全て考えて下さっています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	☐				子供2人が利用していますが、2人に合った支援をしていたいただき、私達も安心してお任せしています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	☐				その都度 即座に対応して頂いています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	☐				クッキングや、遊び、好き事を見つけて下さり、楽しく通っています。	
保護者 への 説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	☐				はい。分かりやすく教えてくださっています。	
	12	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	☐					
	13	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	☐				送迎時に会うだけなのでなかなか普段の様子を話す機会がない。 先生とお会いした時や、メールのやり取りをさせていただき、とても有難いです。	
	14	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	☐				そのような機会がありませんと思う。 分かりやすく説明くださいます。	
	15	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	☐				支援はしっかりしていただいていると思うが共感的かどうかは判断できない。 親身になっていただいています。	
	16	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				☐	保護者同士の交流は希望していないので、今のところ問題とは捉えていません。 保護者会があるかどうかは知らない。	家族支援の方法等については、今後検討していきます。
	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	☐				相談をする機会はなかったが、もしある場合誰にどのようにして良いか分からない。 ご丁寧にわかりやすく、これからの療育の支援などたくさん教えて頂いています。	
	18	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	☐				してくださっています。	

	19	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	20	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					
	21	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		避難訓練等を実施した場合の情報共有に努めています。
	22	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	23	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
	24	こどもは安心感をもって通所していますか。	○				もっと行きたいと話しています。	
満足度	25	こどもは通所を楽しみにしていますか。	○				毎回とても楽しみにしており、それを嬉しく思う。 すごく楽しみにしています。	
	26	事業所の支援に満足していますか。	○				大満足です。 月1回は少ないように感じる。日数を増やすことはできないか。 また送迎があるととても助かるので検討していただきたい。	当事業所においては、送迎を実施する予定は今のところございません。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年6月23日				
こどもと家族の育ちサポート スコレー						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個室を活用した個別療育を中心として行なっている。	・時間帯によっては、療育室が狭く感じることもあるため、パーテーションなども活用してスペースを確保していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・1体1での療育を基本とし、子どもの状態に合わせて複数の職員で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・消毒や清掃を適宜実施している。	・待合スペースを十分に確保できるように努めていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・3つの個室を活用して、こどもが安心して落ち着いて活動できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価を実施し、公表している。評価結果を受け、職員間での課題の共有と改善への取り組みを話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎朝業務開始前に職員ミーティングを実施し、職員の意見を聞き、業務改善を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・第三者による外部評価は行なっていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内において、定期的に勉強会を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HP上と施設運営システムのマイページ上で、支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・法人内の医療機関と連携しながら、適切なアセスメントを実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・週1回、職員間で子どもの支援に関する情報共有のため、カンファレンスを実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・施設運営システム上で、計画について職員間の共有ができるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントも活用しながら、こどもの適応行動の状況を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎日のミーティングや、週1回のカンファレンス等を活用している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前に、毎朝ミーティングを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後の時間を確保し、職員間での振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・できる限り、参加するように業務調整を行なっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・同法人内の医療機関と、週1回カンファレンスを実施し、連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・必要に応じて、学校との連携を行い、月1回活動記録の共有を実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			・現在、就学前の在籍校との情報共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・現在、利用児の中に、学校を卒業して、障害福祉サービス事業所へ移行した方はいない現状である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・今後、必要に応じて連携を図っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・まずは、同じ施設を利用している他のこどもとの交流の機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・府中町の自立支援協議会こども部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後や、施設運営システムのチャット機能を活用している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・同法人内の医療機関において、ペアレント・トレーニングを実施しているため、当施設では実施していない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・定期的にこどもや保護者の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		療育後や、施設運営システムのチャット機能を活用している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・今後、必要に応じて、保護者同士が交流する機会の提供を行なっていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きの保管庫で管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・事業所での行事は実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・安全計画に位置付け、年間を通して定期的な訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年間を通して定期的な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・法人内の医療機関と連携して確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・法人内の医療機関と連携して確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定期的な安全点検を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・事業所内の会議を定期的に行い、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・外部機関の研修等も活用して、研修の充実を図っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束を行う必要のある利用児はいないが、必要に応じて、個別に対応していく。	